

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2019年3月31日

事業ID:2017448783

事業名:リカバリーカレッジOKAYAMA

団体名:社会福祉法人あすなろ福祉会

代表者名:杉原 綾乃 印

TEL:086-273-9692

事業完了日:2019年3月31日

事業費総額	2,680,291円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	536,291円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	2,144,000円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	66,000円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容(実績。700文字以内):

1. 実行委員会(運営委員会)の創設運営

- (1)時期:2018年6月2日~2019年3月17日 計14回
- (2)場所:(社福)あすなろ福祉会(岡山市北区表町)、そばら屋(岡山市北区表町)
- (3)参加者:149名(精神障害当事者、市民、精神保健福祉専門職、教育関係者など)
- (4)内容:リカバリーカレッジの運営、講座開講に関する検討など

2. リカバリーカレッジに関する講演会

- (1)時期:2018年8月25日 1回
- (2)場所:岡山コンベンションセンターレセプションホール(岡山市北区駅元町)
- (3)参加者:84名(精神障害当事者、市民、精神保健福祉専門職、教育関係者等)
- (4)内容:イギリスおよび立川で実践しているリカバリーカレッジについて学ぶ講演会

3. リカバリーカレッジの運営に関する研修会

- (1)時期:2018年6月2日~11月23日 計4回
- (2)場所:コチャエ、(社福)あすなろ福祉会、ヒバリテラス(すべて岡山市北区表町)
- (3)参加者:延べ61名(精神障害当事者、市民、精神保健福祉専門職、教育関係者など)
- (4)内容:リカバリーカレッジの運営に関する研修など

4. リカバリーカレッジの実施

- (1)時期:2018年12月9日～2019年3月2日 計20回
- (2)場所:(社福)あすなる福祉会、アサノカメラ、ソバラ屋
- (3)参加者:162名
- (4)内容:リカバリーカレッジの開催

2.事業内容詳細:
別途添付

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

①リカバリーカレッジ運営委員会を設立

- ・リカバリーカレッジ運営委員会を年10回以上実施する。
- ・事務局を設置する。

②リカバリーカレッジに関する講演会の実施

- ・諸外国におけるリカバリーカレッジの実践についての講演会を年に1回以上開催する。
- ・リカバリーカレッジに関わりたい人が参加者の50%以上になる(参加者へのアンケートで調査)

③リカバリーカレッジの運営に関する研修会の実施

- ・諸外国や日本におけるリカバリーカレッジの運営方法について学ぶ研修会を年に4回以上開催する。
- ・研修会の参加者が20名以上で半数以上が精神障害者当事者、市民など医療保健福祉専門職以外である。

④リカバリーカレッジの実施

- ・3種類以上で合計15セッション以上のプログラムを提供する。
- ・4週間以上実施する。
- ・参加者の満足度が80%以上である(参加者へのアンケートで調査)。

【目標の達成状況】

① リカバリーカレッジ運営委員会を設立

- ・リカバリーカレッジ運営委員会を設立し、年14回実施することができた。
- ・事務局を社会福祉法人あすなる福祉会内に設置することができた。

② リカバリーカレッジに関する講演会の実施

- ・諸外国におけるリカバリーカレッジの実践についての講演会を年に1回開催できた。
- ・リカバリーカレッジを受講したい、関わりたい人、他の人にも紹介したいと回答した人が参加者アンケート記入者(42名)の90%以上。講演の満足度は、大変満足・やや満足が86%だった

③ リカバリーカレッジの運営に関する研修会の実施

- ・リカバリーカレッジの運営方法について学ぶ研修会を年に4回開催できた。
- ・第1回目は参加者20名(うち13名が精神障害者当事者、市民など医療保健福祉専門職以外)
- ・第2回目は参加者9名(うち4名が精神障害者当事者、市民など医療保健福祉専門職以外)
- ・第3回目は参加者8名(うち3名が精神障害者当事者、市民など医療保健福祉専門職以外)
- ・第4回目は参加者21名(うち12名が精神障害者当事者、市民など医療保健福祉専門職以外)

④ リカバリーカレッジの実施

- ・9種類で合計19セッションのプログラムを提供できた
- ・8週間実施した
- ・参加者のアンケート記入者(22名)の満足度が、大変満足・やや満足が21名:95%であった(参加者へのアンケート調査より)。

4.事業実施によって得られた成果:

- ・リカバリーカレッジを岡山市で初めて開催することができた
- ・リカバリーカレッジに関する認知度を高めることができた
- ・リカバリーカレッジのHP及びパンフレットができた
- ・運営委員会でそれぞれの個性を活かして協働できた
- ・公開講座を開講して一般市民にも関心をもってもらえた

5.成功したこととその要因:

①運営委員会

- ・回数を重ね、時間をかけて話げできた
- ・実行委員会と研修を同日に開催し、日程を調整して行った

②講演会

③運営に関する研修会

- ・多様な講師を呼んで研修できたことでリカバリーカレッジOKAYAMAの理念などを形にすることができた
- ・ともに学ぶことで意欲が高まった

④リカバリーカレッジ実施

- ・運営委員会で必要なプログラムを話し合うことができ、実施回数を増やすことができた
- ・個別相談会、オープンカレッジを行ったことで希望者がイメージを持つことができた
- ・商店街で開催し、商店主に講師として来てもらうことで商店街ともつながることができた
- ・新聞に取り上げてもらった

6.失敗したこととその要因:

①運営委員会開設 参加者が少なかった

②リカバリーカレッジに関する講演会の参加者数が達成できなかった(目標150名)

- ・広報の開始時期が遅かった
- ・災害の影響を受けた

③運営に関する研修会 参加者が少なかった

- ・第2回、第3回は運営委員向けの研修内容であったため参加者が少なかった

④リカバリーカレッジの実施カレッジの受講生が目標(30名)に届かなかった(受講生26名)

- ・オープンカレッジから開始までの期間設定が短かった
- ・参加募集時期が遅くなり、12月になってしまった

7.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案:

- ・リカバリーカレッジの価値を理解して実践できる講師の養成が課題であり、次年度は研修を行う。
-

事業成果物:

【助成契約書記載の内容】

- ①アンケート結果パンフレット A4版(両面) 500部
- ②活動写真チラシ A4版 1000部×2種類

【作成成果物】

- ①カレッジ実施のパンフレット 500部 (添付パンフレット参照)
 - ・アンケートについては2019年3月31日事業完了時点での集計ができていなかったため、パンフレットに掲載できなかった。その為2019年5月末までにリカバリーカレッジ OKAYAMA 専用ホームページへアップする予定。
- ②リカバリーカレッジOKAYAMAだより 500部(添付カレッジだより参照)
 - ・2019年1月～3月実施の内容を中心に報告

その他

- 法人機関誌へのカレッジ紹介
- リカバリーカレッジ OKAYAMA 専用ホームページ作成

【成果物がアップロードされているCANPANのURL】